

広島交響楽団島根定期演奏会

「いい曲たくさん」

情報ボランティア 大庭 明 博

三月七日(日)、首席客演指揮者、エヴァルド・ダネルさん率いる広島交響楽団とグラントワ合唱団が共演します。

ピアノは二〇〇四年、日本音楽コンクール第一位の外山啓介さんです。当日の演奏曲を簡単にご紹介してみよう。

モーツァルト

アヴェ・ヴェルム・コルプス

三十五歳で夭折したモーツァルトの死の半年前に作曲されました。清く深く澄み切った情感を持つ、純粋な美しさにあふれたこの作品は、世界中で愛唱・愛聴され、人々に大きな感動を与え続けています。二〇〇五年三月のいわみ合唱塾コンサート(於・石川県民文化会館)でも、栗山文昭先生の指揮で一曲目に演奏されましたので、鑑賞された方もおられると思います。聴き逃しのないように早めに来場下さいね。

ヘンデル ハレルヤ

ハレルヤとはキリスト教で神に捧

げる感謝の意だそうですが、ドイツ生まれのヘンデルがロンドン時代に作曲した「メサイア」(救い主)というオラトリオ(演技のないオペラのようなものです)のなかの一曲で、初演時絶賛を博した作品です。高らかに神を賛美する大変有名な合唱は、どなたにも聴き覚えあるものと思います。

シューマン ピアノ協奏曲

シューマンの作品で、最も世に知られているのはピアノ小曲集「子供の情景」の中の一曲、ファンタスティックな曲想のトロイメライでしょうか。今回演奏されるピアノ協奏曲は、ファンタジーがシューマン特有の濃厚なロマンにも発展した詩情あふれる曲で、期待の若手、外山啓介さんのピアノが、大ホールにどのように響きわたるかとても楽しみです。

ベートーヴェン 運命交響曲

ベートーヴェンは九つの交響曲を作曲しましたが、この交響曲第五番はその中でも完璧と言われている作品です。冒頭の四つの音「ダダダダ

ーン」が、運命が戸を叩くと擬せられ、なぜか日本でだけそのまま「運命」という俗称のようなものが使われています。モツトーは「苦悩より歓喜へ」。このありとあらゆる音楽のなかでも最も知られているであろう交響曲の演奏が、私の知る限りでは益田市で初めてです。コンサートに出かけて、非日常の時空間を楽しんでみられませんか。



座る「の」楽「の」

アテンダント 澄川 優子

展示室の端に置かれた椅子にぽつんと座っている私達アテンダント。美術館を訪れたことがある方なら一度は目にされたことがあると思います。展示室で座っている間、私達は『監

視』という業務についています。監視というと大げさに聞こえるかもしれませんが、展示されている大切な作品を守るために、そしてお客様の鑑賞に妨げがないよう常に周囲に気を配ることが主で、その他にも館内のご案内や、展示についての簡単な質問にお答えすることで少しでもだけ観賞のお手伝いをさせていただくなど様々です。

開館当初は作品を守ることに一杯で鋭い視線で周囲を見回し、お客様に圧迫感を与えてしまったり、緊張や勉強不足でお問い合わせに上手くお答えできなかったりと頼りなかった私。四年ちよつと経った今では周囲に気を配りながらお客様とお話することもできるようになり、作品についての素敵な思い出話を聞かせていただいたり、作品を絡めた冗談を言っていただけの機会も増えました。

嬉しいことに、私と話したことで作品の思い出がまた増えたと喜んでいただけたこともあります。

これからは更に、お客様と共に楽しみながら観賞を手助けできる存在になっていきたいです。

美人画の 人気投票

コレクション展

二月十四日までお正月をはさんで二ヶ月間「日本画に見る和の装い」と題して、日本画の美人画展示は大変好評でした。

明治、大正、昭和初期に描かれた女性を対象にした色々な「装い」です。当時の和（服）の美しい流行の一端が垣間見られました。この作品はサイズの大きいものがまらず目を引きまします。そして大変あざやかな彩色でした。

今回は見終わると「おしゃれ『和装』人気投票」のコーナーでお気に入りの画にシールを貼って投票する仕組みです。みんなで参加する展示会、うれしくなります。良い仕掛けです。

また、今回の作品には学芸員から大変親切に「鑑賞のポイント」が付されており、これが人気の重要な点でもありました。その中から上位二点を紹介します。



『旗亭涼宵』昭和八年作

(作者 小早川 清)

解説「モデルは“芸者歌手”の市丸さん、スラリとした立ち姿と粋な着こなしは、さすが」



『池畔春興』昭和七年作

(作者 榎本 千花俊)

解説 「黒のロングドレス、アメリカ女性をまねたファッション」
(情報ボランティア 飯塚 哲也)

「ご案内します 観光地ホテル食事処」

総合案内カウンターの近くに「観光案内コーナー」があります。益田観光ボランティア会の会の方々が土曜と日曜にこちらに出席かれ、おもてなしの気持ちを含めて、精力的に活動をされていますので取材をしました。

活動は平成二十年十月からで、ご承知と思いますが、この会は 幅広く益田の歴史文化などを勉強され医光寺、萬福寺をはじめ市内各地の神社・仏閣で活躍されています。またグラントワに来館される方々に益田の観光案内、温泉地にホテル・旅館やお食事処も親切に案内されて

います。「神楽の案内もしますよ。」とのことでした。（「毎日開催されないのが残念ですね」とのこと。）

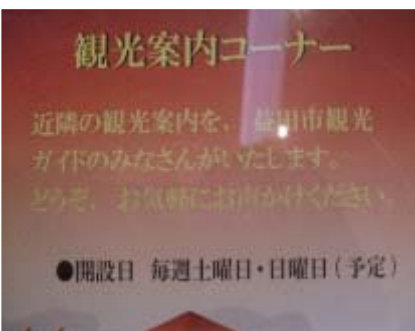
案内コーナーには山口県、広島県だけでなく近畿地方のお客さんも来られるようです。

また、沢山の人々との「ふれあい」がうれしい、また子供たちとの語らいも楽しみのことでした。

益田市とグラントワのファンが増えることを、またリピーターが増えることを願いながら今日も笑顔で活動を続けられています。

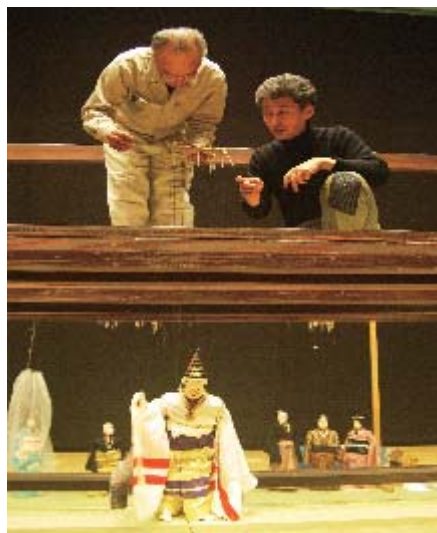
“観光センターだけでなく「益田市民が地域の宣伝マン」の気構えでグラントワを支えたいものです。”とのコメントをいただきました。

(情報ボランティア 飯塚 哲也)



益田糸操り人形芝居人材育成特別プログラム

益田市の糸操り人形は、全国でも3地域のみ活動する糸操り人形芝居の中でも非常に貴重な存在です。昨年度と今年度は、松江、出雲市公演を行い、その存在を広く知っていただくことが出来、保存・継承の機運が高まっています。現在、今まで実現できなかった総合ワークショップを東京から人形製作・衣装製作・結髪・太夫・三味線・人形操演の講師をお招きし、様々な技術をいただいています。



左、人形操演 上、太夫・三味線



上、人形製作
下、結髪



季節行事

サービス課 上野 加世

こんにちは。私は事務室でお客様の対応をさせていただいています。

グラントワも皆様に支えられ、応援していただき、おかげさまで五年目を迎えます。これまでにたくさんのお客様に足を運んでいただきました。誠にありがとうございます。グラントワに来られる度に、新しい発見や体験をされているのではないのでしょうか。私もこの仕事に携わってから、いろんな発見や体験、そして日々成長をさせていただいています。そこでひとつご紹介したいことがあります。

それは「グラントワの季節行事」です。私はグラントワでたくさんの方の季節行事に触れてきました。◎昨年は七月に七夕まつり。私も願い事を書きました。◎九月の五連休には秋風観。グラントワ・オリジナル缶バッジ作りが新聞に載りました。◎十一月末から十二月にはグラントワ・グラナリエ二〇〇九。約一万球のLEDを使つてのイルミネーションで、中庭広場と大ホール側回廊を彩り、たくさんの方の皆さまにお越しいただきました。どの催し物にも共通することは、観る・聴く・作る・味わう・触れ合うということです。グラントワでしか体験できないことだと思います。

そこでまだ、「グラントワの季節行事」

に触れたことがないという皆さま。二月二十六日(金)から三月二日(祝・月)まで、「グラントワでひなまつり」桃の香物語」を実施します。希少な戦前のひな人形を観る。毎週日曜にひなまつりミニ・コンサートを聴く。千代紙を折ってつるしひなを作る。ひな茶(桃の香りのお茶)を味わう。といった催し物に触れてみてください。いつものひなまつりを「グラントワでひなまつり」に代えて楽しんでみてはいかがでしょう。そして「季節行事」をこのグラントワで体験していただき、新しい発見をして帰っていただくと嬉しく思います。お気軽に足を運んでください。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

あ
と
が
き

バンクーバー冬季五輪も終わりますと、入学・就職・結婚・転勤などの新しいことの始まる春。桜咲き、ハナミズキが咲き、冬ざれた街も明るく力強い息吹きを始めます。人と人との新たな出会いと期待に胸踊る季節ですね。美術館企画展「花とともに」は四月二十三日から。五月一日にはアルファイ、コンサート。四・五日には室町文化フェスティバルと盛り沢山です。人間って一人では生きていけないもの。「つながるグラントワ」にお出かけして楽しみ探してみられませんか。(A・O)